



デュアルシステム成果発表会

令和8年2月19日

2月19日（木）に八百津町ファミリーセンター大ホールにて、デュアルシステム成果発表会が行われました。

岐阜新聞（掲載許可済み）にて以下の通り掲載されましたのでご紹介します。

**1年間の企業実習、成長
八百津高生が成果発表**

年間を通じ、生徒が企業で働きながら学ぶ教育システム「デュアルシステム企業実習」を行う八百津高校（八百津町伊岐津志）の成果発表会が19日、同町八百津の町ファミリーセンターで開かれ、生徒が実習で学んだことを披露した。

同校の企業実習は2016年度から実施。2年生の希望者が毎週木曜に町内や可見市などの企業や店舗などに出勤し、働きながら職業観やコミュニケーション能力の育成、社会人としてのマナーの習得などを図っている。

発表会では、本年度に実習に参加した22人が登壇。

企業実習の成果を発表する生徒
八百津町八百津、町ファミリーセンター

1、2年生約130人や保護者、受け入れ先の企業、連携型中高一貫教育を行っている八百津東部中学校の生徒らを前に、登壇してスライドを映しながら1年間の学びを発表した。

スーパードで実習した女子生徒は「あいさつや返事、お礼をきちんとすることと教わった」「仕事の流れから、次を考えた行動が大切だと学んだ」などと発表。木工所へ出向いた男子生徒は「長時間集中して働く力がついた」などと、自らの成長や変化を語った。

（中村芳紀）

岐阜新聞社提供 令和8年2月21日（土）付 朝刊掲載（許可済み）